学校番号	1016

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	コンテンツの制作と発信	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

実技を中心とした授業のため、ＬＡＮ教室で行います。
この授業では、コンテンツを制作するために、普段あまり使わないソフトウェア（画像編集ソフトウェアや動画編集ソフトウェアなど）やコンピュータ以外の情報機器（ディジタルカメラやビデオカメラ）を使用し、作品制作を行います。
様々な作品制作を通して、創造するための思考力・判断力・表現力を養いましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
様々な情報機器やソフトウェアの使い方を理解し、それらを適切に活用することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
目的に合った情報機器やソフトウェアを選択し、静止画や動画を作成することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
情報社会における、メディアの役割や情報発信のメリットやデメリットについて学ぶことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・様々な情報機器やソフトウェアの使い方を理解し、利用することができる力 ・様々な情報機器やソフトウェアの特性の理解し、目的に応じたものを選択することができる。 ・情報発信やコンテンツ制作を行うことの利点や気を付けなければならない法令や権利について理解する。	・様々な情報機器やソフトウェアを使用し、主体的に表現できる力 ・目的に応じた情報機器やソフトウェアを選び、活用できる力 ・自らの表現を振り返り、改善できる ・情報発信や作品制作を行う際、法令や権利を侵害しないよう配慮し作品作りを行うことができる	・様々な情報機器を用いた表現方法に関心を持ち、活用しようとする意欲・態度 ・意欲的に作品制作を行う態度 ・自らの学習活動を振り返り、評価及び改善しようとする態度

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	静止画編集	○イラスト作成ソフトウェアの基本操作 ○静止画作品制作	a:ソフトウェアの操作方法を理解し、基本的・応用的な作成技術を身につけている b:目的に応じた作品を考え、課題制作を行うことができる c:意欲的に作品制作行い、良質な作品を作成しようとしている。	授業 プリント 課題作品	授業 プリント 課題作品	課題作品 振り返り 相互評価 授業察
	情報社会とメディア	○情報発信のための手段と情報発信のメリットとデメリット	a:情報発信のための手段について基本的な知識を理解している b:情報発信に関するメリットとデメリットについて考え、目的に応じた情報発信方法を選択できる c:情報発信を行うための方法やメリットデメリットについて意欲的に学ぼうとしている	授業 プリント ワークシート	授業 プリント ワークシート	振り返り 授業観察
2	動画編集	○動画編集ソフトウェアの基本操作 ○動画作品制作	a:ソフトウェアの操作方法を理解し、基本的・応用的な作成技術を身につけている b:目的に応じた作品を考え、課題制作を行うことができる c:意欲的に作品制作行い、良質な作品を作成しようとしている。	授業 プリント 課題作品	授業 プリント 課題作品	課題作品 振り返り 相互評価 授業観察
	権利や法令	○情報発信に関する法令や権利について (著作権・肖像権・情報モラルなど)	a 情報発信に関する権利や法律を理解している b:制作物が法律を遵守し、他人の権利を侵害してないか確認し、情報発信を行うことができる c:情報発信に関する権利や法律について意欲的に学ぼうとしている	授業 プリント ワークシート	授業 プリント ワークシート	振り返り 授業観察

3	作品制作	○作品制作 （テーマに沿った制作物を自ら決定し、制作物を作成する） ○総まとめ	a:自ら制作物や制作方法等を決定し、計画書や企画書等を作ることができる b:目的に応じた作品を考え、課題制作を行うことができる c:意欲的に作品制作行い、良質な作品を作成しようとしている	授業 プリント 課題作品	授業 プリント 課題作品	課題作品 振り返り 相互評価 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度